

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

平成 19 年 10 月 23 日 (火) 第 2384 回 (本年度第 16 回) 例会

●創立 昭和34年6月9日

●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10

ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (10/23)

歴代会長スピーチ

御橋 義諦君

10月16日(第2383回)例会報告

点鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓話:歴代会長スピーチ

和光幼稚園理事長・園長 佐々木 喆彦君

ビジター:木村有為君(鶴岡西 RC)

会長報告

先週の行事

- 10/6 ~ 7 : RI2800 地区 2007-08 年度地区大会
米沢市 米沢中央 RC (大友ガバナー、柳沢会長)
RI 会長代理 朴 (バク) 桂寅 (ジュイン) さん
鶴岡 RC 出席者多数

◆会長ショートスピーチ

今年の 7 月に発表された日本人の平均寿命は男 79 才、女は 85.81 才とされております。去年の推計ではこれが男 78.56 才、女 85.82 才ですのでこの値も毎年少しづつ伸びています。この平均寿命とは各年齢別の平均余命表の中でのゼロ才の平均余命のことです。平均寿命を超えた年齢の人でも結構平均余命があります。たとえば 100 才の方の余命は 2 年以上です。しかし 100 才を超えた方で(私も 3 人ほど見させて頂いております)基礎疾患が管理可能な場合は、そのまま何年でも長生きなさるのではないかと云う印象を受ける事もしばしばあります。しかし 寿命にも限界があり現在は 120 才ぐらいが一応の限界とされています。日本人の平均寿命は昭和 22 年度では男 50 才、女 54 才でした。悪性疾患、脳血管障害、心疾患は依然死因の 3 大死因となって今後の改善の余地を残しています。この 3 大死因が抜けた時の日本人の平均寿命は 7 ~ 8 年

次回の卓話 (11/6)

荘内病院副院長 伊藤末志氏

延びるとの計算もあるそうです。お年寄りの治療では、ご家族の協力やご本人の協力なども大切です。

幹事報告

1. ご寄付お礼

2008 年第 4 回スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・山形

開催日: 2008 年 3 月 7 日 ~ 9 日

2. ガバナーエレクト事務所開設のご案内

開設日: 平成 19 年 10 月 1 日

所在地: 山形市十日町 1-1-26-2F(歌懸稻荷神社社務所)

執務: 平日 9 ~ 4 時

連絡先: TEL 023-633-3890 • FAX 023-633-3891

E-mail: office2008@rid2800.jp

平成 20 年 7 月 1 日よりガバナーアルバート事務所となります

3. WCS プロジェクトにご協力ください

第 3350 地区

- ・糖尿病患者の視力回復レーザー治療の事前検査に使われる特殊カメラ
- ・タイ国、市民病院患者待合室の拡張

第 D4570 地区

- ・地域活性化

4. パワーアップフォーラムのご案内

日時: 11 月 10 日 (土) 12:30 受付開始 13:00 開会
会場: ホテルメトロポリタン山形
登録料: 3,000 円 (当日ご持参ください)

5. ニュープランズウィック市訪問団歓迎会の開催について

日時: 11 月 12 日 (月) 午後 6:30 ~
会場: 東京第一ホテル鶴岡 孔雀の間
会費: 4,000 円 締切: 10/31

会長

真島吉也

会報委員会

副会長

富樫松夫

事務局

幹事

本間昭吉

青柳孝治 佐々木 喆彦 白幡憲一郎

鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階

TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3776

卓 話

子どもの自立を…

和光幼稚園園長・理事長 佐々木皓彦 君

私は中学校2年まで東京牛込弁天町に住んでいた。路地を出た所には「夏目漱石」の屋敷があり、近くには牛込弁天があった。又すぐ近くには「中村メイ子」の父親が経営していたカフェ・バ



「中村メイ子」とは同じ位の年代であったが、その辺りの子ども達が通う「早稲田小学校」には入っていないかった。後で聞いた所では、彼女は小学校には行かなかったと言う。今も健在の黒柳徹子氏も正規に小学校には入学していないと聞いている。

当時は、子どもを捕まえては「勉強しなさい」「外に行って遊びなさい」、外にいれば何処からか見ている近所の目、特に子ども達の遊ぶ広場の片隅にある「三河や」の酒屋の爺、文房具を扱う店の婆は、将に天敵であった。店の前を通る時、どうしたら見られないでその前を通るか。ボタン一つ掛けていいな事まで見付けられた。

現在鶴岡市の幼稚保育機関に約4,000名余の子どもがいる。そのうち教育・保育機関に在席している子どもは99.8%である。これらの組織で活動をはじめてから40年余り、最初の頃はただ元気で育つようにと、現在とは違った創意工夫がその時々の社会を背景に続けられていた。その後子ども達の保育・教育は理想的とは言えないまでも、形としては随分と整えられ、今は殆どの子どもたちが幼児教育を受けられるようになった。

それに加えて「子育て支援」の活動が急速に制度化され、一定の成果を挙げつつある様に見られるが、どれも泥縄式の感が免れない。そんな中で、子育て中の母親の支援までも進められ、健全な子どもの育成を図ると家庭教育・社会教育までもが幼児の保育にあたる施設に要望される時代になった。

勿論社会生活は大きく変わり、子どもが家庭内でも離れて過ごす時間が確実に多くなった。家庭内でも、親子・家族の団欒は失われ、電機機器に奪われているのが現況である。子どもの生活の尤も大切な事は、親と過ごす時間であると誰もが承知しながら、それが出来ないもどかしさを家庭・母親は勿論、保育者自身が一番感じているのではないだろうか。

子どもが子ども時代に十分教育を受ける事は、大切な事だと誰もが思っているが、環境も社会も大きく変化して、親の願いは勿論、保育者の思いも届か

ない事が多くなった。保育園・幼稚園の預かり保育、長時間保育それに加えて学校では学童保育と、大人社会の都合に合わせて本当の子ども時間は益々少くなり、少子化の影響は本来の家庭生活でも、子どもの社会の常識を壊している。今はかつて重要な社会要素であった隠居は子どものご機嫌とりの遊び相手に変化して、威厳と権威を失ってしまった。

子供を取り巻く環境で一番大切な事は、家庭生活であると誰もが認めながら、本来そこで創られていく事の大切さは、残念ながら失われている事実を、我々はどの様に考えたら良いのか。現在では益々家庭での生活時間が少なくなっている。そこで失われた時間を大人はもっと真剣に考え、もう一度原点に還って話し合い、理解を深める事が必要な時だと思う。この儘、保護しなければ育たない子どもを作つて行く教育が果たして本当の子どもの教育になるのかどうか、この儘では、子離れ・親離れの出来ない子どもしか育たない結果になるような気がしている。常に保護された環境でしか生活出来ない子どもを育てる事は、その結果自立心の無い子どもに育てる事に手を貸しているのではないか。

委員會報告

スマイル

真島 吉也君 上野 欣一君 樋渡美智子君
木村 有為君（鶴岡 RC）

出席委員会

•出席報告 (1)

会員数	出席	出席率	前々回 確定出席率
46名	30名	68.16%	79.55%

●メイクアップされた方

藤川	享胤君	樋渡美智子君	本間	昭吉君
丸山	隆志君	嶺岸 禮三君	真島	吉也君
越智	茂昭君	佐藤 孝子君	佐藤	友行君
富樫	松夫君	富田喜美子君		

● 9月100%以上出席者

250%	真島 吉也		225%	藤川 享胤
175%	樋渡美智子	本間 昭吉	丸山 隆志	
	越智 茂昭	富樫 松夫		
150%	富田喜美子	佐藤 孝子		
125%	秦 幸助	阿蘇 司朗	加藤 功	
	青柳 孝治	塚原 初男	本間喜美子	
	嶺岸 禮三	石田 雄	斎藤 昭	
	樺野 隆博	御橋 義諦	若生 恒吉	
	白幡憲一郎	桜井 隆		
100%	佐藤 友行	阿部 純次	佐々木皓彦	
	加藤 恒介			